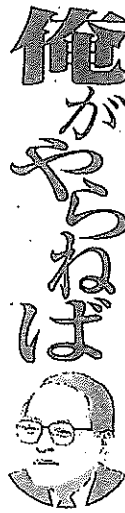


永田町新潮流 平沢勝榮



2017年は、慰安婦問題が注目された1年だった。昨年暮れに韓国政府の作業部会は、15年の日韓合意を検証した報告書を発表した。

報告書は、慰安婦を「被害者」として、合意に至るまでの対日交渉について「被害者の意見を十分に集約しなかった。政府間で解決を宣言しても、問題の再燃は避けられない」と指摘した。

安婦問題などを議論する分科会をのぞいてみた。

ここでは韓国の議員が「天皇陛下に、譲位前に訪韓してもらいたい」と言っていた。しかし韓国は、ドナルド・トランプ米大統領訪韓の際の晩餐(ばんざん)会に元慰安婦を同席させ、各国のひんしゅくを買っている。その韓国が、天皇陛下のご訪韓を希望するのは一体全体、なぜだろうか。

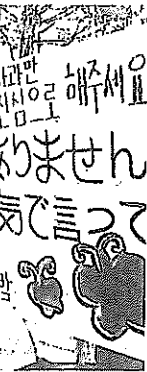
私は分科会で、慰安婦問題について「日韓合意は両国政府の間で正式に交わさ

れた約束で、金銭も支払われている」と発言した。

これに対し、韓国の議員は「日韓合意については、元慰安婦はあらかじめ聞いていなかったし、納得もしていない。従って日韓合意ではなく、『日韓密約』だ。日本からの金は関係者が流用して、被害者である元慰安婦には渡っ

ていない可能性があり、現在捜査中だ」などと言っていた。

慰安婦被害者をたたえる日」と定めた。さらに韓国の市民団体は今年、徴用工の像をソウルの日本大使館前に設置する計画を明らかにしている。最近、これらの問題で中韓の共闘の動きも出ている。



慰安婦問題は、韓国の「『え得』」を許してはならない(共同)

慰安婦問題は、韓国系や中国系の住民の働きかけで昨年はフィリピンなど多くの国に新たに設置された。像の建立が地方議会の議決で決まった所もある。私は20年近く前に超党派の議員連盟を立ち上げ、地方参政権の外国人への付与に強く反対してきたが、つくづく反対してきてよかったと思っ

受け入れられぬ韓国の「慰安婦合意」検証報告

検証報告

韓国は昨年暮れに8月14日を「日本軍慰安婦被害者をたたえる日」と定めた。さらに韓国の市民団体は今年、徴用工の像をソウルの日本大使館前に設置する計画を明らかにしている。最近、これらの問題で中韓の共闘の動きも出ている。今までは「この問題にあまりに関心過ぎた。その結果、慰安婦像は今や、世界各地に次々と設置されている。この問題には日本の名譽が関わっているだけに、絶対に看過するわけにはいかない。日本は総力をあげて関係者に働きかけ、こじつけた動きにストップをかけていくべきだろう。(自民党衆議院議員)